

サポーターズクラブ通信 VOL.7

筑波山地域ジオパーク・サポーターズクラブのみなさま

日頃より筑波山地域ジオパーク構想を応援いただき誠にありがとうございます。サポーターズクラブ通信をお送りいたします。今回は、筑波山地域の魅力を再発見できる新たなジオサイト候補地の見どころと、今年度の各市の取り組みをご紹介します。

イベント情報につきましては、別紙をご覧ください。

【今回の内容】

1. 新たなジオサイト候補地の紹介
2. 最近の取り組み

筑波山地域ジオパーク推進協議会
事務局本部
(つくば市 科学技術・特区推進課
ジオパーク推進室内)
住 所: つくば市研究学園一丁目1番地1
電 話: 029-883-1111(代表)
E-mail: geo298@info.tsukuba.ibaraki.jp



HP・Facebook・Twitterでイベント情報について発信しています!



HP: <http://tsukuba-geopark.jp/>

Facebook: <https://www.facebook.com/Tsukubageopark/>

Twitter: https://twitter.com/Mt298area_geo

新ジオサイト候補地の紹介～小貝川と上郷地区～

小貝川は、鬼怒川と並んで関東平野を南北に流れる一級河川です。典型的な蛇行河川で、中流～下流域での河川勾配が緩やかなことから、大雨のたびに氾濫がおき、周辺地域は幾度となく洪水被害を被ってきました。2015年9月10日の鬼怒川決壊で甚大な洪水被害を受けた常総市石下地区は、この小貝川中流部の右岸に位置し、1986年8月6日の小貝川決壊の際にも同様の被害を受けました。これらの洪水が起きた原因として、無堤部が残されていたこと、両河川中流部の勾配が緩やかなこと、河道部の標高が石下地区を含む低地の標高よりも高いこと、堤防付近での砂利採取によって川岸の樹林化が進行していたことなどが有識者によって指摘されています。



(図1) 鬼怒川左岸と小貝川左岸にそれぞれ位置する常総市石下地区とつくば市上郷地区

石下地区の東方に位置するつくば市上郷地区は、小貝川中流左岸の蛇行部に隣接しています。上郷地区には、自然堤防、後背湿地や河跡沼など過去の洪水でできた自然地形がよく保存されており、後背湿地は水田、河跡沼は川口公園(図1)として利用されています。

公園内の湧水地では、カヤツリグサの仲間、ヨシやマコモ、ヒシといった湿生・水生植物や、カエル、トンボやチョウといった里地里山の自然を代表する生き物を見ることができます。これらの生き物は、同地区の生物多様性の豊かさとともに、近年の地球環境の変化を示しています。



(写真1・2)河跡沼を利用してつくられた川口公園。
水辺にはヨシやマコモ、カヤツリグサの仲間や
ヒシが生い茂る。

(写真3・4)湖沼の開発や農薬による水質汚染等で絶滅が危惧されるトウキョウダルマガエルとチョウトンボ。
(写真5)地球温暖化とともに生息域の北上が指摘されているツマグロヒョウモン。

同地区の小貝川沿岸では、そこに暮らす人々が小貝川を水運として利用してきた歴史や、自然災害(低地での洪水、台地でも干害)とともに生きてきた歴史が、様々な遺構や石造物、そして神社の信仰形態として残されています。



6



7



8



9

- (写真6) 上郷地区に残る小貝川の旧河道。
 (写真7) 近世の小貝川水運の歴史を今に伝える上郷河岸の棧橋跡。
 (写真8) 棧橋跡のすぐそばに建つ水神社の板碑。水神社の板碑は、水上交通の安全や洪水などの水害回避を願って建てられた。
 (写真9) 現在も雨乞い信仰が残る金村分雷神社(図1)。

このように上郷地区では、土地改変や環境汚染によって減少の危機に瀕している天然の河川地形や里地里山の生き物を今でも普通に観察することができます。また、そこに残されている景観や数々の歴史からは、小貝川沿岸の風土とともに生きてきた人々の営みを感じ取ることができます。

筑波山地域ジオパーク推進協議会では、こうした本地域ならではの大地の遺産を数多く残す小貝川と上郷地区を筑波山地域を代表するジオサイトの一つとし、将来的に市民向けの防災・環境教育の場として活用していくことを検討しています。

皆さんも、まずは小貝川と上郷地区を一度訪れてみてはいかがでしょうか？

最近の取り組み

(協議会後援事業)第11回筑波山水源の森づくり植樹祭

(協議会)

筑波山は全国植樹祭発祥の地です。9月6日(日)、NPO法人地球の緑を育てる会主催で植樹祭が開催されました。参加者約100名で、筑波山神社境内の森に1000本の苗木を植えました。

苗の種類は15種類。その土地に從來から生息する複数の木を植樹することで、木の成長過程に自然淘汰や共存共栄が起こり、通常の樹木よりも成長速度が速く、丈夫に成長するのだそうです。

会の途中で筑波山地域ジオパーク構想についてお話させていただきました。時間もたっぷりいただき、ご質問もいただきながらのプチ説明会。応援の言葉もたくさんいただき嬉しいかぎりです。

白雲橋コース入ってすぐの脇にある森ですので、今後も植えた木々の成長を見守っていききたいと思います。



笠間市区長会総会にあわせたジオ講演会 (笠間市)

5月24日(日)、友部公民館にて、「筑波山地域ジオパーク構想と笠間の自然」をテーマとして、ミュージアムパーク茨城県自然博物館・首席学芸員の小池さんから講演をいただきました。

内容は、日本ジオパーク認定に向けて、筑波山地域の取組みと、その特徴や魅力、笠間市にあるジオの素材などについてスライドなどで紹介するもので、多くの方が初めて聞く内容で、興味深く耳を傾けていました。



講演会の様子



夏休みワークショップ 「鉱物・岩石標本を作ろう！」 (笠間市)

8月9日(日)、石の百年館にて、市内の小学生を対象に鉱物・岩石の標本作りを体験するワークショップが開催されました。

参加者は21種類の鉱物・岩石の中から自分の好きな石を10個選び、見本の石と見比べて石の名前と産地を標本に書き込み、自分だけのオリジナル標本を作りました。

交流センター講座「筑波山しらべ隊」 (つくば市)

7月4日(土)と5日(日)の2日間、小学生を対象としたジオパーク講座を開講しました。講師は筑波大学のお兄さんとお姉さん。

1日目の座学では、地層の成り立ちを、実験を交えながら楽しく学びました。2日目の現地探検では、お天気は少し残念でしたが、その中でも探検隊のみんなは元気ハツラツ。午前中は雪入ふれあいの里を探検し、午後は筑波山梅林を探検しました。



大好きいばらき 筑波山地域ジオパーク構想 構成市バスツアー交流会 (笠間市・つくば市)

7月31日(金)、大好きいばらき県民運動の地域推進員である「ネットワーク」さんたちの交流会が開催されました。テーマが「ジオパーク認定を目指して」、サブテーマが「ジオパークを盛り上げるためにネットワークにできること」ということで、開催にあたってつくば市ジオパーク推進室にもお声かけいただきました。

こちらから30分程度お話をさせていただいたあと、ワークショップ形式で話し合わせ、グループ発表がありました。とても活発な意見交換がなされ、ネットワークの皆様の盛り上がりを感じることができました。

高齢者学級第3回学習会(郷土の歴史を学ぶ) (桜川市)

7月17日(金)、真壁伝承館において、真壁地区の高齢者学級の学習会として、筑波山地域ジオパーク構想についてお話をさせていただきました。ほとんどの方がジオパークについて、初めてだということで、ジオパークとはどういう意味なのか、またジオパークの目的はなんなのか、世界や日本のジオパークはどこにあるのか、またジオパークの楽しみ方などをお話ししました。参加した皆さんは真剣に話を聞いてくれました。

また後半は生涯学習課学芸員より、真壁地方の焼き物の歴史とみかん栽培の歴史をジオパーク構想と絡めて話をいたしました。



ジオクリスタルアート

@泳げる霞ヶ浦市民フェスティバル(土浦市)

7月20日(月・海の日)、霞ヶ浦総合公園内の国民宿舎「水郷」跡地で開催された泳げる霞ヶ浦市民フェスティバルに、土浦市内で排出されたガラスをリサイクルしたガラス粒で「筑波山地質図」を描く、ジオクリスタルアートのブースを出展しました。

NPO法人エコレンの協力のもと、当日は、134人の方に地質図作製を体験いただき、ジオパークの普及推進を図ることができました。



めざせジオパーク! 上高津貝塚どきどき体験 (土浦市)

8月9日(日)、上高津貝塚ふるさと歴史の広場で開催された「上高津貝塚どきどき体験」にジオパークのブースを出展しました。

ブースでは「筑波山地質図」のジオクリスタルアートと缶バッジ作製を実施したほか、館内では貝輪づくりや土器のハンズオン展示が行われていました。

本イベントの目玉は、食べられる土器「ドッキー」の無料配布。その正体は土器の形をしたクッキーですが、本物そっくりの出来栄に、来場者も驚いていました。



企画展『日本近代化の父 高島嘉右衛門 —石材産業・セメント産業・農業にみるジオパーク』 (かすみがうら市)

高島嘉右衛門は、天保3年(1832)に牛渡村に生まれ、横浜での鉄道・ガス・学校など事業、さらには高島易断を興したことで有名となった人物です。7月11日(土)～9月23日(水)に開催された企画展では、嘉右衛門が行った石材・セメント・農業などに着目し、ジオパークの観点から紹介しました。合わせて7月26日に行った記念講演会「高島嘉右衛門とジオパーク」では、60名の方が高島嘉右衛門と筑波山地域ジオパークの魅力に熱心に耳を傾けていました。

